

市民対話集会「ふれあいトーク」報告書

主催：倉吉市関金公民館（いきいき希望塾）
と き：令和2年8月6日（木）13：30～15：00
ところ：関金総合文化センター 大会議室
テーマ：「第12次倉吉市総合計画について」



<主な意見について（抜粋）>

○新型コロナウイルス対策について

◆新型コロナウイルス対策についてお聞きします。コロナ対策としてマスク配布以外にも学校、お店への対策は具体的に何をしておられますか。また、今後の対策として考えておられることがあれば教えてください。

- 学校の関係については、各小中学校に非接触タイプの体温計を配布したり、給食配膳室にエアコンを整備する予定。また、体育館の換気設備の整備もする予定。鳥取看護大学・鳥取短期大学にも、大学生が学業を継続できるよう、支援を行っている。お店の関係では、やはり経営が厳しいという声がよく聞かれる。倉吉市では、地域の中でお金を使っただけのよう、プレミアム付き商品券を発行して、事業所を支援している。この商品券については、追加で発行するよう検討を進めているところ。これら以外でも、いろんな形で支援をしていければと考えている。

○倉吉ってどんなまち？

◆お店のことについてお聞きします。現在、倉吉には若者が楽しめるお店や場所が極端に少ないと思います。私たち女子中学生の年代は、東京にあるようなオシャレなお店を求めていると思います。そういったお店を作ったり誘致したりするようなことは考えておられますか。

- 若者向けの施設ということで、倉吉市に足りないものの筆頭ではないかと思う。オシャレなお店ということで、例えば原宿や渋谷、青山や池袋にあるようなお店を想像されているかと思う。お店を出すというのは商売をするということだから、儲からないことにはなかなか難しい。人口規模で言えば、鳥取県東部の圏域で約30万人、鳥取県西部と島根県東部の圏域で約60万人だが、鳥取県中部だと約10万人ということで、経済規模が限られてしまうのが現状。ラウンド1等に来てもらうとしても、商売にならなければすぐに出て行ってしまう、というところで、誘致すれば良いというものでもない。他地域に比べれば小さいかもしれないが、パープルタウンも倉吉の魅力の1つ。これ1つを維持するのも難しいという現状もある。一方で、規模が小さいが故に、ある意味チャレンジしやすい部分もあると思う。市としてもそうしたチャレンジを支援していければと考えている。

◆グリーンスコーレせきがねについてお聞きします。グリーンスコーレせきがねが閉館していますが、今後どのような使い道があるか考えを教えてください。

- グリーンスコーレについては経営していた会社が倒産してしまい、宙に浮いている状態になってしまっており、現在、新しい経営者を募集している。関金地区の重要な宿泊施設であり、どこか入ってくれることを期待している。ラグビー場が関金の運動公園に来るので、例えば、ラグビー合宿に来た大学等の合宿施設として使ったりはできるのではないかと考えている。

○安全・安心で快適に暮らせるまち

◆災害対策についてお聞きします。現在、梅雨前線の停滞によって、九州始め全国で川の氾濫などが起こっています。もし、関金の小鴨川が氾濫した時のために、どんな対策を考えられていますか。

- 各地域でハザードマップを作り、災害に備えているが、やはり、日頃からよく考えて、周りの人たちと話し合うことが重要。逃げる場所、逃げる時のルートを想定して過ごしていただければ。また、ご高齢の方や小さな子どもたち等、支援が必要な方も一緒に安全に避難できるよう、地域の中で協力していただければと思う。

等々